

富士南麓における森林の復元活動

－ 2007 年の活動報告・2008 年活動計画 －

自然再生活動部会／中村華子

当クラブでは 2003 年から、関東森林管理局静岡森林管理署と「山の自然学クラブ・富士山森の復元活動」という協定を締結して、富士山の国有林で森林復元活動を行っています。2008 年 6 月で活動を初めて 5 年目の区切りを迎えます。ここに、2007 年の活動報告と 2008 年の活動計画について報告いたします。

協定林について

場所：富士山国有林 200 林班た小班 4.56 ha

協定活動内容：「観察・記録・刈り出しなどの手入れを行い、従来の富士山の植生への復元・最善の育林方法の実施を目的とする行動」

「環境教育を目的とした活動」

協定期間：2003 年 6 月－2008 年 6 月（2008 年以降も協定継続予定）

これまでの活動実績

2004 年度 活動日のべ 19 日間 参加者数 80 人 うち会員 39 人 非会員 41 人

2005 年度 活動日のべ 18 日間 参加者数 117 人 うち会員 55 人 非会員 62 人

2006 年度 活動日のべ 28 日間 参加者数 159 人 うち会員 84 人 非会員 75 人

※みなさまのご協力により活動が順調に育っています。ありがとうございます

他団体の活動受入実績と予定

< 2007 年度受入実績 >

・NTT 労働組合

東日本本社総支部にて社会貢献活動を行っており、その一環として自然保護活動を企画。

2006 年度はボランティア推進委員会 16 名で補植作業と自然観察会を試行実施。

2007 年度は支部全体で実施、40 名が参加。（インタープリターの報告参照）

・ハイキングクラブ四季

2007 年 6 月 9－10 日に 9 名参加して現地講座・植樹体験などを共催。

< 2008 年度受入予定 >

・NTT 労働組合

2008 年も継続しての活動実施を希望。活動の時期・形態などは今後検討。

・慶應大学ワンダーフォーゲル部 OB 会(三田会)

創立 150 周年記念事業の中途に朝霧高原にて記念行事を行う、その際に奉仕活動の受け入れ先として当会を希望。2008 年 10 月 24－26 日に活動・講習会を実施予定。

《 2007 年の活動一覧 》

日程	開催形態・作業内容	参加人数	内 訳		備考・その他
			会員	非	
2月17日	自然再生活動部会打合せ・作業 ・自然観察会資料作成 ・植林地内の見取り図作成 ・植物・昆虫リストの作成 など	17	15	2	2006年に実施決定した室内作業を部会参加者で分担して行うことを決定
3月31日	部会作業 ・植林地内の見取り図作成	6	4	2	過年度作成した GPS 地図をもとに現場の見取り図作成
4月1日	部会作業 ・自然観察会資料作成 など	6	4	2	自然観察会ルートの状況確認
4月21-22日	部会作業 ・自然観察会資料作成 ・植林地内の見取り図作成 ・植物・昆虫リストの作成 など	7	5	2	6/2 自然観察に予定している西臼塚ルートの資料作成など
4月30-5/1	6/9-10の下見	2	1	1	
5月19-20日	部会作業 ・6/2-3 植栽地整備、手順確認 ・インプリのリハーサル	9	7	2	植樹予定地の決定・準備インプリアクターの実習
5月26日	6/9-10の下見	2	1	1	
6月2-3日	<山の自然学現地講座> ・山取苗等を補植 ・自然観察会(西臼塚周辺)	53	9	44	NTT 労組東日本支社のボランティア活動・自然観察会受け入れ(40名)
6月9-10日	<山の自然学現地講座> ・低木の密度調整(下刈り)・苗の植栽 ・ウツギ類の枝打ち・下刈り・挿し木 自然観察会(山から麓まで富士南麓の自然を垂直方向に包括する)	27	13	14	講師(柿田川): 柿田川・東富士の地下水を守る連絡会 中島氏、漆畑氏 ハイキングクラブ四季の観察会 ・森林復元受け入れ(9名)
7月21-22日	<山の自然学現地講座> ・ススキ・低木下刈り作業、 土壌流出防止	14	8	6	沢沿いにツル切りも実施
8月25-26日	部会作業 ・ススキ・低木下刈り作業 ・自然観察会(西臼塚周辺)	10	7	3	岐阜から大学生が体験参加
9月2日	部会作業 ・低木下刈り作業、土壌流出防止作業	7	5	2	
9月15日	協議会作業(植物研修会)	3	1	2	
10月14日	10月下見(樹木種子結実状況)	2	1	1	
10月20-21日	<山の自然学現地講座> ・種子採取・精選作業 (協力:東京農大治山・緑化学研究室)	23	7	16	福永健司先生(講師) + 学生 5名参加
11月18日	部会作業 ・植林地整備(土壌流出防止作業)	11	3	8	三田会幹事が現場を視察
12月14日	森林管理署視察	2	1	1	署長のほか2名
12月23-24日	<山の自然学現地講座> ツル切り 愛鷹山自然観察会	15	8	7	
	参加人数 合計	216	100	116	

《 2008 年活動計画 》 ※年間スケジュールは次頁に掲載

これまでに引き続き、年 3-4 回の現地講座と、1-2 月に一度程度の部会活動を予定しています。現地講座では会員以外の方に多く参加していただき、森林再生の活動とともに、自然観察会なども行います（年間スケジュールは次頁に一覧で掲載してあります）。

<年間の主な活動内容>

- ・春前 ー芽生えの前に現地へ苗を持っていきます。冬期に荒れた林地の整備と地拵え
- ・春 ー植栽適期です。補植、挿し木などを中心に行います
- ・盛夏 ー梅雨明けからススキ、ササが一気に伸びますので、下刈りを行います
- ・秋 ー種採り、山取苗の採集

富士山協定林での研究活動

日本では森林の生態系や林業技術に関して、多くの研究がなされてきました。しかし、人工林を自然林に戻していく作業を行うようになってからの日は浅く、十分な知見が蓄積されているとは言えない状況です。

当会での調査・活動を通じて、森林再生の一助となる研究ができれば続けていきたいと考えています。アイデアのある方はお申し出下さい。

<これまでに発表した研究成果>

- ・地域性系統を大切にしたフジブナ導入事例の報告（中村），日本緑化工学会 37 回大会 研究交流発表,2006
- ・富士山南麓の広葉樹林再生のために最適な下刈り強度（中村），日本緑化工学会誌 Vol.33 No.1 / August 2007

Yahoo!ボランティアの寄付増加にご協力をお願いします

Yahoo!で行っている「インターネット募金」を行っています。2007 年度からこちらのサイトで、富士山の森林復元活動への募金を募集していただくことになりました。

<http://volunteer.yahoo.co.jp/donation/index.html>

友人、知人にご紹介いただき、協力者の増加にご協力くださいますよう、お願いします。

＊ ＊ 東京農業大学からの協力について ＊ ＊

この活動で採取した種はすべて、東京農業大学 治山・緑化学研究室にて精選・管理・保存して下さっています。種子の保存までに必要な工程は非常に繊細で煩雑ですが、そのほとんどを研究室の方々にお手伝い頂いています。採取した種子の大半は富士山の自然に戻していきますが、大学の研究室での実験や郷土種の種が必要になった現場の緑化などにも利用して頂くことになっています。

また私たちが植林地の補植に使用している苗木は、現地で採取した種から東京農業大学の圃場で学生さんが大切に育ててくださったものです。

そのほか、会の活動全般に関して様々な面でサポートをしてくださっています。

福永先生をはじめとする研究室の皆様の多大なるご協力をここに記し、深く感謝します。

≪ 2008 年度の活動予定（これまでに決定しているもの） ≫

春＝植栽 夏＝下刈り・つる切り 秋＝種採り が活動の三本柱です。季節に合わせて記の内容で実施します。現地講座は初めての方も楽しめるように日程を組んであります。

※日程は他団体の受入状況などによって変更します。実際の日程は中村へお問い合わせ下さい。

日程	開催形態・作業内容	備考・その他
1月－3月数回 (日程未定)	自然再生活動部会打合せ・作業 ・自然観察会等の資料作成 ・植物・昆虫リストの作成 など	2006 年に実施決定した室内作業を部会参加者で分担して行う
3月8日	国有林ボランティア協議会 総会(担当者が参加)	
19年度中に	国有林協定の再締結(期間6月まで)	次期5年間を再契約の予定
3月下旬	植栽地内の調査・研究活動 ・冬を越した現地の状況を調査 ・継続している調査の実施	今年植栽に使用する苗木の準備なども行う(今年は農大に苗が少ないので現地での補充が必要)
4月-6月ごろ 日程未定	<山の自然学現地講座> 苗(実生・山取)を補植 周辺の自然観察会も実施(西臼塚周辺を予定)	NTT労組東日本総支部のボランティア活動・自然観察会を受け入れ予定
5月(日程未定)	ボランティア協議会(担当者他少人数にて)	この頃協議会の植樹会開催予定
8月2-3日 そのほか数回	<山の自然学現地講座> ススキ・低木下刈り作業、土壌流出防止作業 ・ススキ、ササ等の下刈り ・低木(ウツギ類)の密度調整 刈った枝を挿し木 ・場所により、ツル切りも実施 周辺の自然観察会も実施(場所未定)	作業の進行や天候などによって様子を見ながら、下刈り作業は数回実施
10月 (日程未定)	10月下見(樹木種子結実状況) 山取り苗の採集もおこなう	春から秋にかけ数回実施
10月24-26日	<山の自然学現地講座> 植林地作業など班分けして活動 ・ササ等の下刈り、つるぎりー植林地作業 ・地拵え、苗の植栽 ー植林地作業 ・清掃活動 ー富士山クラブの活動に参加 ・種子採取、山取苗の採集 ー自然林周辺 ・自然観察会 ー周辺の自然林など (協力予定:東京農業大学治山・緑化学研究室)	慶応ワングル OB 会のボランティア活動・自然観察会を受け入れ予定 福永健司先生(講師)、学生数名参加予定
11月8日ごろ	植林地整備(土壌流出防止作業) 調査・研究活動	自然観察会の実施も検討

今年は宝永噴火から300年ちょうどが経過した、記念の年です。火口周辺で噴火から300年たってどのように植生が変化したのか、など、興味深い観察が企画できると思います。各回日帰りでも参加できるようにしてありますので、ぜひご参加下さい。